

---

# ドメイン I CSAの基本

---

2008年4月  
CIAフォーラム CSA研究会 (No. 6)  
ドメイン I : 三木・小原・伊東

# ドメイン I . CSAの基本

## -CSAの基本の理解

( ):テキストページ

- A. 倫理綱要 (p.4-6)
- B. コントロールのオーナーシップおよびアカウントビリティ(p.6-7)
- C. 業務の専門性に対する信頼 (p.7-8)
- D. リスクとコントロールの評価における伝統的なテクニックとの比較 (P.8-10)
- E. コントロールの認識および教育 (p.10-13)
- F. 協働、参加およびパートナーシップ (p.13-17)
- G. 結論 (p.17)

# CSAについて

- CSA (Control Self-assessment)とは、
  - 業務に責任を持つ者が内部統制の有効性を検証し、評価するプロセスである。
- CSAの目的
  - 経営目標の達成に対する合理的な保証の付与
  - 内部監査への価値の付加
  - 業務担当部門の関与を高めることでの価値の付加

# I - B コントロールのオーナーシップおよび アカウントビリティ(p.6-7)

- コントロールのオーナーシップ ⇒ 経営者
  - CSAは、経営者がリスクおよびコントロールに係る必要な情報を入手するのに優れたツールである。(CSAの便益は、ドメインII参照)
- CSAプロセスのオーナーシップ ⇒ 経営者
  - 内部監査グループによるCSAの概念の普及、実行の推進および利用の支援が一般的だが、内部監査がオーナーシップの領域に立ち入ってはいけない。

# I - D リスクとコントロールの評価における伝統的なテクニックとの比較 (p.8-10)

項目	伝統的手法	<u>CSA</u>
最終報告書の発行	内部監査人	<u>経営者</u>
コントロールの識別	内部監査人	<u>経営者/スタッフ</u>
リスクの評価	経営者/内部監査人	<u>経営者/スタッフ</u>
分析手法	インタビューおよび文書のレビュー	<u>ワークショップ/アンケート</u>
改善提言の作成	内部監査人	<u>経営者/スタッフ</u>

# I - F 協働、参加およびパートナーシップ<sup>o</sup> (p.13-17)

- CSAの効果的実施のための条件
  - **経営者の支援** ⇒ ワークグループメンバーの前向きな取組、必要な監査資源の確保
  - **経営者と内部監査の協働** ⇒ 経営者と監査部門間のパートナーシップ<sup>o</sup>の促進
  - **推進者のリーダーシップ** ⇒ 感情的知性(emotional intelligence)の高いリーダー